

水稻病害虫発生調査結果

第2号 <8月14日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

▶病害虫調査結果（調査月日：8月10日 調査圃場：たつの市5圃場、太子町1圃場）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病(葉いもち)	一部の圃場で発生が確認されました。
紋枯病	一部の圃場で発生が確認されました。
縞葉枯病	今回の調査では確認されませんでした。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	セジロウンカ、ヒメビウンカ及びツマグロヨコバイを確認しました。
カメムシ類	一部の圃場で発生が確認されました。 *6圃場中、2圃場で発生が確認されました。
イネカメムシ	一部の圃場で発生が確認されました。

※調査時の天候は晴れ

【近畿地方向こう1か月(8月9日～9月8日)の天候の見通し】(大阪管区气象台発表)

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・ 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%です。
- ・ 降水量はほぼ平年並でしょう。

2 害虫防除のポイント

令和7年7月17日発表の令和7年度病害虫発生予察注意報 第1号を参考にして適切に防除してください。(兵庫県病害虫防除所 <https://bojo.hyogo-nourinsuisange.jp/archives/1384>)

(1) 発生状況

7月下旬のすくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生地点率が56.5%と昨年同時期の22.7%に比べ高く、県内で広く斑点米カメムシ類が確認されています。

(2) 今後の発生予想

今後1ヶ月の気温が高く推移するため、出穂（しゅつすい）期以降の水田では、斑点米カメムシ類の加害に好適な条件になります。

(3) 薬剤防除の留意点

- ・ 出穂直前の畦畔除草は、斑点米カメムシ類を本田に追い込むので控えてください。
- ・ 薬剤防除は、穂ぞろい期～乳熟（にゅうじゅく）期にかけて行ってください。
- ・ イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるため、出穂期に本田で発生が見られたら、薬剤防除を検討してください。
出穂期とその7～10日後の2回防除が被害抑制に効果的です。



イネカメムシによる不稔被害（青立ち）

農薬等は JA 兵庫西の 2026 年度水稻栽培暦を参考にしてください。